

問1 日本の地理的な位置関係（およそ北緯20度～50度、東経120度～155度）に基づき、日本と各国の位置関係を説明した文として、適切なものはどれですか。（2019年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. イランは日本と同じ東経の範囲に位置しているため、緯度の範囲も日本と完全に一致している。 | 2. ブラジルは南半球に位置しているため緯度の範囲は日本と重ならないが、経度は日本と同じ東経にある。 | 3. オーストラリアは日本と経度の範囲で重なる部分があるが、南半球に位置するため緯度の範囲は重ならない。 | 4. アメリカ合衆国は日本と同じ北緯の範囲に位置しているため、経度の範囲も日本と同じ東経にある。 |
|--|--|--|--|

問2 日本で最も多くの都道府県と隣接している長野県の位置関係について述べた文として、正しいものはどれですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--|--|
| 1. 北側に新潟県、西側に岐阜県や富山県など、計8つの県と隣接している。 | 2. 内陸県であるため、隣接する県の数は周囲を囲む4つの県のみである。 | 3. 中部地方のすべての県（新潟・富山・石川・福井・山梨・岐阜・静岡・愛知）と隣接している。 | 4. 東側で関東地方の群馬県や埼玉県と接しているが、東北地方の福島県とも接している。 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--|--|

問3 北方領土の返還に関する歴史的背景において、岩倉使節団の派遣（1871年）より前である江戸時代後期に近藤重蔵が上陸して調査を行い、サンフランシスコ平和条約（1951年）を経て現代に至るまでロシア連邦との間で領土問題となっている島はどれですか。（2016年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 色丹島 | 2. 択捉島 | 3. 歯舞群島 | 4. 国後島 |
|--------|--------|---------|--------|

問4 北海道の北東に位置する択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の島々について、日本の立場を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 島根県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. サンフランシスコ平和条約によって日本が放棄した領土であり、現在はロシアが正当に領有している。 | 2. 現在は日本が有効に支配しているが、中国や台湾が自国の領土であると主張している。 | 3. 韓国が不法に占拠を続けており、日本は国際司法裁判所への付託を提案している。 | 4. 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦末期から現在に至るまでロシアによって不法に占拠されている。 |
|---|--|--|---|

問5 日本の領土の東西南北の端に位置する島々のうち、最も東に位置する島の名称と、その島が行政区分として属している自治体の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 高知県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------|---------------|---------------|--------------|
| 1. 南鳥島 — 東京都 | 2. 与那国島 — 沖縄県 | 3. 沖ノ鳥島 — 東京都 | 4. 択捉島 — 北海道 |
|--------------|---------------|---------------|--------------|

問6 日本の諸地域における面積と人口の統計的特徴について述べた文のうち、北海道に関する記述として最も適切なものはどれですか。（2016年 高知県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 面積は東北地方に次いで2番目に広く、札幌市を中心とした都市部に人口が集中しているため、人口密度は全国平均を上回る。 | 2. 面積は広いものの山地が多いため、居住可能な面積は狭く、結果として中部地方よりも人口が多くなっている。 | 3. 国土の約2割を占める日本最大の面積を持つが、人口は他の地方に比べて相対的に少なく、人口密度は全国で最も低い。 | 4. 面積は全国で最大であるが、人口も関東地方に次いで2番目に多く、広大な土地に多くの人々が分散して住んでいる。 |
|--|---|---|--|

問7 日本の国土がおおよそ北緯20度から北緯50度、東経120度から東経155度の範囲に位置していることを踏まえ、経度の範囲は日本と重なる部分があるものの、南半球に位置するために緯度の範囲が日本と全く重ならない国を次の中から選びなさい。（2019年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|------------|---------|------------|
| 1. イラン | 2. オーストラリア | 3. ブラジル | 4. アメリカ合衆国 |
|--------|------------|---------|------------|

問8 日本の海洋に関する法的な区分において、領海とその外側に広がる排他的経済水域の説明として、最も適切な内容を選びなさい。（2016年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 領海は日本の主権が及ぶ範囲だが、排他的経済水域はどの国も自由に資源を採取できる「公海」と同じ扱いを受ける。 | 2. 領海は沿岸から200海里以内、排他的経済水域は沿岸から12海里以内であり、排他的経済水域は他国の船が入れない海域である。 | 3. 領海は沿岸から12海里以内、排他的経済水域は沿岸から200海里以内であり、排他的経済水域では資源利用の優先権が認められる。 | 4. 領海と排他的経済水域の範囲はどちらも沿岸から200海里以内であり、呼び方が異なるだけで権利の内容に差はない。 |
|--|---|--|---|

問9 地形図と空中写真を照らし合わせて、写真に写っている範囲や撮影位置を正確に特定しようとする際、最も重視すべき情報の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 地図上に記載された等高線の数値と、写真の色の鮮やかさ | 2. 海岸線の屈曲した形状や、主要な道路の走り方 | 3. 地名の文字の大きさと、空中写真の撮影された季節 | 4. 地形図の図郭の大きさと、写真に写っている雲の量 |
|-------------------------------|--------------------------|----------------------------|----------------------------|

問10 日本の領土の中で最も東に位置する南鳥島の経度として、適切なものはどれか。（2018年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 東経123度 | 2. 東経135度 | 3. 西経154度 | 4. 東経154度 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|

問11 排他的経済水域（EEZ）について、その制度の目的や内容を正しく説明しているものを選びなさい。（2019年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--------------------------------------|
| 1. 沿岸国が水産資源や鉱物資源を優先的に利用・管理し、自国の経済的利益を守るため。 | 2. 沿岸国の主権が完全に及ぶ範囲を広げ、他国の船舶の通行を厳格に制限するため。 | 3. 沿岸からの距離に関わらず、深海にある資源はすべて国連の管理下に置くため。 | 4. どの国にも属さない海辺の資源を、世界中の国々が自由に分け合うため。 |
|--|--|---|--------------------------------------|

問12 1月の降雪・降雨日数を比較した統計において、石川県では約22.7日と月の大部分で降水が見られるのに対し、長崎県は約7.0日と比較的に少ない傾向にあります。このように冬の石川県で雪や雨の日が多くなる地理的な背景として、正しい説明はどれですか。（2024年 愛知県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 北西からの冷たい季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山地で上昇することで雪雲や雨雲が発達するため。 | 2. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した風が、標高の低い平野部を通過する際に冷やされて直接雪に変わるため。 | 3. 暖流である黒潮の影響を直接受けることで、海面からの上昇気流が激しくなり、連日のように積乱雲が発生するため。 | 4. 小笠原高気圧から吹き出す湿った空気が、冬の冷たい空気と衝突して停滞前線を形成し続けるため。 |
|---|---|--|--|

問13 地域調査において、実際に現地を訪れる「野外調査」を行う前に「仮説を立てる」作業が必要とされる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 野外調査で得られたデータが自分の考えと異なっていた場合に、データを書き換える根拠にするため。 | 2. 実際に現地へ行く手間を省き、図書室やインターネットでの資料収集だけで調査を完結させるため。 | 3. 調査の目的を明確にし、現地でのどのような情報を重点的に収集すべきかという視点を持つため。 | 4. 野外調査の後に作成する「まとめ」の文章を、あらかじめ完成させておくため。 |
|---|--|---|---|